

# PDS Ver7.0 情報

## PD\_ISO, PD\_ISOGEN の変更点

武藤工業(株)  
PBS 営業部  
2001/09

### 1. ソフトウェアバージョン

PDS の Latest バージョン(Sep-2001 現在)の PD\_ISO、PD\_ISOGEN、ISOGEN の関係です。

PDS	PD_ISO	PD_ISOGEN	ISOGEN
Ver6.3.1	06.03.01.41	06.03.01.30	7.17.9
Ver6.4.1	06.04.01.30	06.04.01.11	7.17.9
Ver7.0.0	07.00.00.16	07.00.00.15	8.7.0

### 2. PRIMARY\_ORIENTATION\_NOTE

このテーブルは、バルブオペレータのプライマリ方向を表すラベルを定義します。各オペレータに対してプライマリオリエンテーションラベルの接頭語を定義することも出来ます。

テーブルへの登録は以下のようになります。

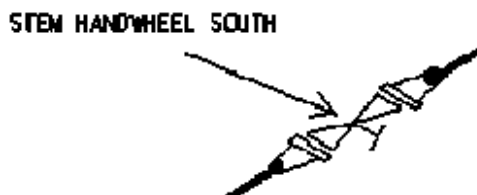
**'OPER\_NAME', 'NOTE\_PRFX'**

OPER\_NAME                      バルブオペレータのシンボル名  
NOTE\_PRFX                      プライマリオリエンテーションノートで使用される接頭語

例) バルブオペレータ OP\_3 に対してプライマリオリエンテーションノートが表示されるようにテーブルに登録します。

テーブルへの登録は次のようになります。  
'OP\_3', 'HANDWHEEL'

登録の結果次のように表示されます。



'STEM'は、Atext-213 によって定義されています。

オペレータの方向がスキューしているか、プライマリ軸に沿っている時には、Intergraph オプション 59 を使用してバルブオペレータの表示を制御することが出来ます。

### 3. INTERGRAPH\_OPTIONS\_BLOCK

#### 追加 / 変更

No.35 ( PD\_ISO Ver6.4.1.27 から使用可能 )  
CR 22368

ガスケットに対して Itergraph オプション No.35=1 の時、ガスケットのスペック (例えば、getmetric\_standard, materials\_grade) を取り出すために、ガスケットスペックの代わりにボルトスペックから取り出したラベルを使用します。

- 0 : ボルト / ガスケットの材料ディスクリプションへ属性を埋め込むためにデザインデータベースを利用します。これらの属性は、コンポーネント (例えばフランジ) から取り出します。
- 1 : ボルト / ガスケットの材料ディスクリプションへ属性を埋め込むためにスペックデータベースを利用します。これらの属性は、ボルト / ガスケットに適応するスペックから取り出します。

このオプションが 1 に設定されていた場合、ボルト / ガスケットに対してボルト / ガスケットが生成されたコンポーネントからの属性の代わりに、スペックデータベースから材料ディスクリプションへ属性を埋め込みます。オプションが 1 に設定されている場合、ラベルはスペックデータベース(table\_202)内の既存の属性のみ参照するようにならなければなりません。

No.38 日付フォーマット  
CR 9310 (279901129)

日付フォーマットを 2 つ ( 8 , 9 ) 追加しました。

- 0 : DD-MMM-YYYY
- 1 : DD-MMM-YY
- 2 : MM/DD/YY
- 3 : DD/MM/YY
- 4 : MMM DD,YYYY
- 5 : DD MMM YYYY
- 6 : MM/DD
- 7 : DD/MM
- 8 : YYYY-MM-DD                   追加
- 9 : YY-MM-DD                   追加

No.59  
CR 8942 (279802212) CR 7944 (279500986)

- 0 : バルブオペレータとプライマリオリエンテーションノートの表示
- 1 : バルブオペレータとプライマリオリエンテーションノートの表示しません
- 2 : バルブオペレータがスキューしている場合にのみバルブオペレータとプライマリオリエンテーションノートを表示します。

#### NOTE:

このオプションは、ATEXT-213、スピンドルの向き、PRIMARY\_ORIENTATION\_NOTE テーブルを組合わせて使用します。

No.62 (PD\_ISO Ver07.00.00.16 以上)  
CR 24601

各溶接個所にPDSにより作成されたユーザ定義の溶接番号を出力できるようにポジションAに値2を追加しました。

- 0 : PDS により作成された溶接番号を表示しません。
- 1 : PDS により作成されたシステムの溶接番号を表示します。
- 2 : PDS により作成されたユーザ定義の溶接番号を表示します。

システム溶接番号は、各溶接個所にロードされます。PDS により作成されたユーザ定義の溶接番号とは、ラベルNo.355 で定義されたセグメント上の WeldID と各溶接個所の溶接番号とを ' - ' で接続した文字列のことです。

No.68  
CR 15942 and CR 9141 (279900116)  
Intergraph オプション No.68 にポジション B と C を追加しました。

- PositionB (スプールナンバー)
- 0 : スプールナンバーは、数値順で割当てられます。
  - 1 : スプールナンバーは、アルファベット順で割当てられます。

- Position C (Piece Mark Prefix):
- 0 : スプールナンバーのみでピースマークナンバーの接頭語は含みません。
  - 1 : ピースマークナンバーの接頭語とスプールナンバーが含まれます。

このオプションは、Repeatability 機能で使用されます。このオプションのポジション B と C を使用するには、ISOGEN オプション No.109 を 111112 に設定します。スプールナンバーにアルファベットを含ませたいときには、ISOGEN オプション NO.39 を 2 に設定しなければなりません。

No.72 (PD\_ISO Ver.06.04.01.10 から利用可能)  
CR 9700

フランジ付きパイプをサポートやオレットタイプの分岐部品によって分割して表示するかを決定するために、Intergraph オプション 72 を追加しました。

- 0 : パイプ上にサポートやオレットタイプの分岐部品がある場合、フランジ付きパイプは分割されません。
- 1 : パイプ上にサポートやオレットタイプの分岐部品がある場合、フランジ付きパイプは分割されません。

オプションが 1 に設定され、フランジ付きパイプにオレットタイプの分岐部品がある場合、ウェルドオレット (WOL) は、ISOGEN シンボルキー WTBW としてマップされ、IDF ファイルにはレコード 126 のカップリングとして表現されます。

No.73

ティーエルボ、ティーベンドの表示方法  
CR 9234 (279900575)

トラニオンが垂直なエルボに配置されているとき、トラニオンのセンターラインの高さは、エルボのセンターラインの高さに沿ってアイソ図で表現されなければなりません。

注意：トラニオンはエルボのセンターラインからオフセットした位置に配置されます。

- 0：エルボやベンドのタップセクションに対して PDS-to-ISOGEN マップテーブルで定義されている ISGNAME をマップします。
- 1：PDS-to-ISOGEN マップテーブルで定義されている TAPNAME よってタップ付きエルボやタップ付きベンドをティーエルボやティーベンドにマップします。

ISOGEN オプション No.122=1 に設定することで、アイソ図上にタップ座標を表示させることが出来ます。

No.74 パイプラインのセンターライン・エレベーション / B.O.P の表示方法  
CR 8533 (279701697)

- 0：パイプラインのエレベーションが変化する際の、センターラインのエレベーション座標を表示します。
- 1：パイプラインのエレベーションが変化する際の、センターラインの B.O.P 座標を表示します。

パイプのボトムエレベーションは、パイプラインが垂直面に対して移動する場所で表示されます。ATEXT-450 は、初期値 'B.O.P' ですがユーザ定義することが出来ます。

パイプのボトムエレベーションは、デザインデータベースで外径ゼロのコンポーネントでは計算されません。ワーニングメッセージ W70 を参照してください。

No.75 (PD\_ISO Ver06.04.01.24 から利用可能)  
パイプラインの長さ / 数量の切換え  
CR 21469

- 0：パイプの両端が MALE エンドの場合、パイプは長さで集計されます。
- 1：PDS\_sort\_code ( table50, column16 ) に値が入力されている場合、パイプは数量で集計されます。入力されていない場合は、長さで集計されます。

## 4. ISOGEN\_OPTIONS\_BLOCK

追加 / 変更

### No.2 ( Cutting List )

- |   |   |  |
|---|---|--|
| A | 0 | カットリストとカットピース番号を表示しません。                      |
|   | 1 | カットリストとカットピース番号を表示します。                       |
|   | 2 | カットピース番号をシート毎に1から始めます。                       |
| B | 0 | 旧タイプ(limited information)のカットリストフォーマットを使用します |
|   | 1 | 新タイプ(full information)のカットリストフォーマットを使用します。   |
| C | 0 | カットピースを番号(1, 2, 3...)で表示します。                 |
|   | 1 | カットピースをアルファベット(A, B, C...)で表示します。            |
| D | 0 | 標準のカット長で表示します。                               |
|   | 1 | 新タイプのカットリストのREMARKSのフォーマットで10進数のインチで表示します。   |
| E | 0 | 実際の分岐点からカット長を計算します。                          |
|   | 1 | メインのパイプランのセンターから分岐部のカット長を計算します。              |

### No.6 (Date in Title Block)

- |   |   |                               |           |
|---|---|-------------------------------|-----------|
| A | 0 | 標準                            | 14 APR 88 |
|   | 1 | EUR                           | 14/04/88  |
|   | 2 | USA                           | 04/14/88  |
|   | 3 |                               | 日付を出力しません |
| B | 0 | IDF ファイルのレコード(-14)からの日付を使用します |           |
|   | 1 | システムからの日付(実行時の時間)を使用します。      |           |
| C | 0 | 2桁の年を使用します。                   |           |
|   | 1 | 4桁の年を使用します。                   |           |

### No.24(Material List Type/Length Units)

このオプションで使用されるメトリックやインチ系の単位は、ISOGEN オプション 41 の設定によって決められます。

- |   |   |  |
|---|---|--|
| A | 0 | ドロ잉毎に 1/10M や 1/10FT 単位で表示します。ゼロに設定しなければなりません。 |
| B | 0 | x.xM または、x'x" フォーマットで出力します。10.4M、10.4'         |
|   | 1 | xMM または、x'x" フォーマットで出力します。1040MM、10'5"         |
|   | 2 | x.xxxM または、x.xxx' フォーマットで出力します。1.040M、10.510'  |

## No.30(Material List Output)

### マテリアルリストがあふれた場合の処理

- 0 標準のリストの横に自動的に追加されます。
- 1 マテリアルリストのみが含まれる図面が追加で作成されます。
- 2 2 番目のシートには、1 番目と同じシート番号がつけられますが、接尾語として A,B,C...が追加されます。
- 10 DRG 1 of 1 がシート番号として追加されることを除いて0 と同じです。
- 11 DRG 1 of 1 がシート番号として追加されることを除いて1 と同じです。
- 12 DRG 1 of 1 がシート番号として追加されることを除いて2 と同じです。

## No.39(Spool Numbers)

### スプール番号表示

- A 0 スプール番号表示 ON ( 連番 1, 2, 3, ... )
- 1 スプール番号表示 OFF
- 2 スプール番号表示 ON ( 連番 A, B, C, .. )
  
- B 0 スプール番号は、ドロ잉を通して連番で割当てられます。
- 1 スプール番号は、シート毎に1 にリセットされて使用されます。
  
- C 0 or blank 二重線の長方形の囲いがつきます。
- 1 端点が角の囲いがつきます。
- 2 端点が丸の囲いがつきます。
- 3 三角形の囲いがつきます。
- 4 菱形の囲いがつきます。
- 5 正方形の囲いがつきます。
- 7 囲い無し。

## No.40 (Pipe Supports)

### パイプサポートの表示と寸法線表示

- A 0 STRING タイプの寸法線が表示されます。
- 1 OVERALL タイプの寸法線が表示されます。
- 2 図中とマテリアルリストに表示しません。
- 3 サポートの寸法を表示しません。
  
- B 0 パイプラインの寸法線と同じ方向にサポートの寸法線を表示します。
- 1 パイプラインの寸法線と反対側にサポート寸法を表示します。
  
- C 0 or Blank ユーザ定義のパイプラインとサポート寸法線の間隔を設定しません。システム設定が使用されます。
- C/D data mm の単位でパイプラインとサポート寸法線の間隔を設定します。
  
- E 0 or Blank 全てのサポートに対して寸法線を表示します。
- 1 Fabrication タイプのサポートのみ寸法線を表示します。
- 2 Erection タイプのサポートのみ寸法線を表示します。

- 3 Offshore タイプのサポートのみ寸法線を表示します。
- 4 Erection と Offshore タイプのサポートのみ寸法線を表示します。

#### No.41 (Dimensional Units)

呼び径、座標、重量、の単位を制御します。

- A 0 径は Inch 系、寸法は Metric 系
  - 1 径、寸法共に Inch 系
  - 2 径、寸法共に Metric 系
- B 0 Metric 座標を mm で表示します。
  - 1 Metric 座標を M.mm で表示します。
- C 0 寸法をフィート/インチで表示します。(6' 10.1/4")
  - 1 0 と同じですが、ダッシュが入ります。(6'-10.1/4")
  - 2 1 と同じですが、ダッシュの代わりにスペースが入ります。(6'-10 1/4")
  - 3
  - 4
- D 0 重量情報を出力しません。(マテリアルリスト、ドローイングフレーム含む)
  - 1 重量をキログラム (kg) で表示します。
  - 2 重量をポンド (lb.) で表示します。
  - 3 重量はキログラム (kg)、寸法はメートル (m) で表示します。
  - 4 重量はポンド (lb.)、寸法はメートル (m) で表示します。
  - 5 重量はキログラム (kg)、寸法はフィート (ft) で表示します。
  - 6 重量はポンド (lb.)、寸法はフィート (ft) で表示します。
- E 0 個々の重量を情報を出力しません。ただし、Sub-total, total 重要のみ表示します。
  - 1 コンポーネント重量は、コンポーネント全体の重量として出力されます。  
(数量 × ユニット重量)
  - 2 各コンポーネントタイプの個々の重量を出力します。数量によって掛け算をしません。
- F/G 0 or blank
  - Inch フォーマットから Feet/inch フォーマットに変更します。
  - Value 全て inch のフォーマットから feet/inch フォーマットへ切り替える長さ指定します。  
最小有効値は、12 です。
- H blank 分岐部やレデューサ部の呼び径を表示します。
  - 1 分岐部やレデューサ部の呼び径を表示しません。

#### CR 11341

寸法値を全てインチで表示する場合、No.41 の F/G=99 に設定すると 99 インチまでインチ表示になります。

ISOGEN Ver 8.5.5 以上

#### No.53 (Weld Numbers)

- A 0 溶接番号を表示しません。
- 1 Small サイズで表示します。
- 2 Medium サイズで表示します。
- 3 Large サイズで表示します。
- 4 ファブリケーションウェルドのみ Small サイズで表示します。
- 5 ファブリケーションウェルドのみ Medium サイズで表示します。
- 6 ファブリケーションウェルドのみ Large サイズで表示します。
- 7 ショップウェルドのみ Small サイズで表示します。
- 8 ショップウェルドのみ Medium サイズで表示します。
- 9 ショップウェルドのみ Large サイズで表示します。

1-9 の値は、1 ドローイングに対して 1 から始まる連番で表示します。  
ポジション A は、ポジション D が 0 または 1 の場合は、0,1,2,3 にしなければなりません。

- B 0 ウェルドボックスを表示しません。
- 1 ウェルドボックスを表示します。

- C Blank or 0  
ドローイングに対して 1 から始まる連続した溶接番号が表示されます。
- 1 各シートに対して溶接番号が 1 から始まります。

- D 0 オフショア溶接の番号を表示します。
- 1 オフショア溶接のみ番号を表示します。
- 2 オフショア溶接の番号を表示しません。

注意：ポジション A の値が 4, 5, 6, 7, 8, 9 の場合には、このスイッチは 2 に設定してください。

- E 0 or blank  
全ての溶接タイプに対して連続した番号を表示します。
- 1 各溶接タイプ毎に連続した番号を表示します。

#### No.60 (Tag Numbers)

- 0 インラインアイテムにタグ番号を表示しません。
- 1 タグ番号を枠付きで表示します。
- 2 タグ番号を枠無しで表示します。

#### No.64 (Pipe Support Information On Isometric Drawing)

- 0 サポート名を図中に表示しませんがマテリアルリストには、Item コードが表示されます。
- 1 サポート名が図中とパーツリストに表示されます。
- 2 枠付きのサポート名が図中に表示され、Item コードがマテリアルリストに表示されます。
- 3 サポート名が図中にのみ表示されます。マテリアルリストには表示されません。
- 4 枠付きのサポート名が図中にのみ表示されます。マテリアルリストには表示されません。



#### No.75 (Weld Number Box Enclosure)

このオプションは、各溶接番号に対して囲いのスタイルを設定します。

- A ショップウェルドのみ
- 0 丸の囲いに溶接番号が入ります。
  - 1 端点が菱形の囲いに溶接番号が入ります。
  - 2 端点が丸の囲いに溶接番号が入ります。
  - 3 三角形の囲いに溶接番号が入ります。
  - 4 菱形の囲いに溶接番号が入ります。
  - 5 長方形の囲いに溶接番号が入ります。
  - 6 番号に合わせて丸の囲いのサイズが変わります。
  - 7 溶接番号に囲いが付きません。
- B ショップウェルドのみ
- 0 溶接番号に接頭語をつけません。
  - 1 溶接番号に接頭語をつけます。
- C サイト/フィールド溶接のみ  
スイッチの機能はポジション A と同じ
- D サイト/フィールド溶接のみ
- 0 溶接番号に接頭語をつけません。
  - 1 溶接番号に接頭語をつけます。
- E オフショア溶接のみ  
スイッチの機能はポジション A と同じ
- F オフショア溶接のみ
- 0 溶接番号に接頭語をつけません。
  - 1 溶接番号に接頭語をつけます。

#### No.99 (Skew Box Style And Dimensioning)

- A
- 0 スキューボックスが表示されます。ハッチングは表示されません。
  - 1 スキュートライアングルが表示されます。
  - 2 スキュートライアングルが表示されます。引き出し線の間隔は、ISOGEN オプション No.100 で指定します。
  - 3 スキュートライアングルが表示されますが、寸法補助線は表示されません。寸法値が表示される場所は、ISOGEN オプション No.100 で指定します。
- B
- 0 ポジション A の設定で表示されます。
  - 1 3D スキューボックスが表示されます。

#### No.109 (Content of Data Return File)

- A/E
- リピータビリティで使用されるリターンファイルに出力するデータを決定します。  
この設定は、111112 にしなければなりません。

#### No.112 (Flow Arrow Size)

このオプションは、レコード No.149 ( FLOW に設定される SKEY ) で使用されます。

0 流れ方向矢印が標準スケールで表示されます。値は 8 です。

1 パイプラインに流れ方向を表示しません。

Data 5-15 の範囲でスケールを設定することが出来ます。

#### No.117 (Dimension Round Off Carry Over)

0 1mm、1/16inch で四捨五入した値を保持して、全体寸法に反映させます。

1 1mm、1/16inch で四捨五入した値を全体寸法に持ち越しません。

#### No.121 (Tapped Branch Dimensions)

フィッティング上(バルブ、フランジ、等)にタップがある場合、とパイプタイプのコンポーネント(エルボ、ティー、パイプ等)にタップがある場合、寸法値の表示を表示 / 非表示 / 一部表示に切り替えることが出来ます。

A フィッティング上にタップが存在する場合

0 タップから先の部品に対して寸法線を表示します。

1 タップから先の部品に対して寸法線が表示しません。

2 パイプやパイプタイプの部品を除いてタップから先の部品に対して寸法線が表示しません。

B パイプタイプのコンポーネントにタップが存在する場合

0 寸法線を表示しません。

1 寸法線を表示します。

2 パイプやパイプタイプの部品を除いてタップから先の部品に対して寸法線が表示しません。

## 5. その他の仕様変更

CR 17293

Bolt Commodity Code テーブルの登録数を 900 に拡張しました。

CR 13453

ISOMAP テーブルへ最大登録数を 800 から 2500 に変更しました。(Ver06.04.01.25 でも同様に変更)

CR 8591 (279702093)

Continuation area を 10 から 20 へ増やしました。

CR 8058 (279502387)

バッチ抽出において、Type63 情報を取得するロジックを変更しました。以前は、各エリアの最初のモデル(Pdtable\_113)から情報を取得していましたが、'order by model\_no asc'によって選択されるモデル(アルファベット昇順 A,B,C...a.b.c)から情報を取得します。

CR 16121

ハイジェニックフィッティングに対して IDF ファイルに以下のレコードを追加します。

IDF レコード

111 : liner, male part, reducing liner

112 : nut

113 : clamp

114 : blanks, adapter, vent, drain plugs

CR 15644

PD\_ISOGEN 6.4.1.11(ISOGEN V7.17.9)と PD\_ISOGEN 7.0.0.5(ISOGEN V8.5.2)で PD\_ISO を実行できるように変更しました。

CR 13307

ISO 抽出時における各コンポーネントのタップの制限を解除しました。ブランチ部品(エルボ、ベンド、ティー、クロス等)のような 'Pipe' タイプのコンポーネントのタップ配置/抽出が可能になりました。また、スペシャルフィッティング(3way、4way バルブ等)も可能です。パイプ上にタップを配置できないという PDS の制限には対応されません。

CR 9126 (279900014)

1 本のパイプラインに 40 個以上のサポートを配置できるようになりました。

CR 9073 (279802774)

Drawing Revision Description の文字数を 40 から 60 文字に拡張しました。

注意：タイトルブロックに 60 文字のリビジョンを表示させるためには、'increment revision number'スイッチをオフにして 2 回抽出しなければなりません。

CR 8763 (279800542)

フローアローのように流れ方向によって、向きが決まるシンボルを作成できるようになりました。

CR 9259 (279900772)

Intergraph オプション 10 を使用したときにアイテムの MTO に "SCHEDULE" という文字を追加する機能を提供します。INGR\_ATEXT\_SPECIFICATION の No.17 によってコンポーネントのスケジュールのための文字列を再定義することが出来ます。

CR 9089 (279802901)

エレクションアイテム ( field fabricated ) のエンドプレパレ - ションにハチングが掛からないようにするには、以下の SKEY がマップされている SW,SC,CP を再定義します。

- 'X3 ' - SC Screwed end in
- 'X4 ' - SC Screwed end out
- 'X5 ' - CP Compression end in/out with the same graphic
- 'X6 ' - SW Socket weld end in
- 'X7 ' - SW Socket weld end out

X3 から X7 のデフォルトグラフィックスは、塗りつぶしになります。これらを塗りつぶしにならないように再定義します。

ISOGEN Ver8.5.5 以上

CR 8337 (279603432)

MTO Neutral File Record Map の COMMON\_RECORD\_DATA にテーブル-2 を追加しました。  
MTO ニュートラルファイルに Iso Revision Number 等の属性を入力できるようになりました。

Table	Col	Special data item mapped to the record
-2	1	Piping Area
-2	2	primary line ID
-2	3	secondary line ID 1
-2	4	secondary line ID 2
-2	5	drawing number
-2	6	batch reference
-2	7	iso file name
-2	8	model status code
-2	9	model revised date
-2	10	current extraction date
-2	11	current extraction number
-2	12	number of sheets from revious extraction
-2	13	date MTO neutral file was generated
-2	14	date MTO was sent for Material Control
-2	15	current revision number
-2	16	current revision block revision number
-2	17	current revision block By initials
-2	18	current revision block Chk initials
-2	19	current revision block Appv initials
-2	20	current revision block issue date
-2	21	current revision block extraction number
-2	22	current revision block number of sheets
-2	23	current revision block description

CR 8092 (279502533)

以下の条件で配置されているのパイプサポートのアイソ抽出が可能となりました。

- パイプのエンドやパイプラインのエンドに配置したサポート
- 他のコンポーネントに接続しているパイプのエンドに配置されたサポート
- パイプに沿った点に配置されたサポート
- コンポーネントのレッグ(エルボ、パイプバンド等)に沿った点に配置されたサポート
- オレットに配置されたサポート
- エルボのタップポイントに配置されたサポート

CR 7053 (279901255)

ストレートやベンドを使用して連続したパイプがあります。各セグメントは僅かに角度が異なっていて、スキューパイプとして連続して作成されています。

スキューはストレートとして描かれますが、スキューの角度を強調せずに本当の角度に近づけて描きます。

この機能は、DDF ファイルに登録することによって実行されます。

CURVED-PIPES

CURVE-PRESENTATION STRAIGHT

ISOGEN Ver.8.5.2 以上

CR 16474

フィメールのエンドプレパレ - ションのコードリスト 461 から 469 に'SC'を追加しました。またメールのエンドプレパレ - ションタイプ 341-349 の範囲を'LC'から'PL'に変更しました。

## 6. 制限事項

デザインデータベース内で外径がゼロのコンポーネントに対しては、下部のエレベーションを計算することが出来ません。外径がゼロは有効な値です。それは、Eden モジュールによって割当てられているからです。B.O.P は外径によって計算されますが、ゼロの場合に正しく計算する方法はありません。

重量をレポートするためには ISOGEN No.41 と INGR No.47 を矛盾なく設定しなければなりません。例えば、重量を Kgs で与えるためには、パイプ長をメトリックで設定しなければなりません。

呼び径情報を正しく表示させるためには、Isogen41 と Ingr43 を矛盾なく設定しなければなりません。

オレットの接続部を\*\*のシンボルキーで再定義した時、固定のシンボルが使用されます。例えば、使用しているシンボルが、PMBW を再定義した SWBW の場合、PM\*\*を再定義した SW\*\*に変更されます。

INGR14=1(インプライドマテリアルを生成しない)、ISOGEN118=1(全体寸法表示)に設定した場合全体の寸法がガスケット厚分短くなります。

no-mto のスルーボルトのウェーハーチェックバルブがノズルに接続しているとき(ノズル - バルブ - フランジ - パイプ)、ISO 抽出するとガスケットは含まれるが、ボルトが含まれません。

## 7. 不具合対応

対応バージョンが記入されていないものは、PD\_ISO Ver07.00.00.15 で Fix されています。

### I. 一般

TR 25207

PD\_ISO は、pdtable\_12 にユーザ定義属性が 24 以上あるとき(全体で 101 個)、抽出に失敗します。  
07.00.00.16 以上

TR 20723

グリッドラインが同じ長さで定義されていないとき、パイプラインに近いグリッドラインがアイソ  
図で参照されない場合があります。

TR 20239 (16071)

いくつかのスペシャリティコンポーネント(例えば Swivel Joint Type 3)のシンボルは、コンポーネ  
ントがある特定の向きで配置されているときには正常に描かれません。

PD\_ISO Ver 06.04.01.22 に対応

TR 19659

MicroStationJ7.1.1.57 を使用した場合、save previous details 機能が動作せずに、detail が保存で  
きません。Microstation SE 5.7.1.20.を使用すると、正常に動作します。

TR 18411

Weldneck フランジ、レデューシングフランジ、ショートパイプ、レデューシングティーが配置され  
ている直行しないラインに対して FAIL が表示されます。

ISOGEN Ver8.5.5 以上

TR 17732

Double back pipe error と FAIL メッセージがループが含まれる特定のパイプラインで発生します。

TR 17618

プラグが配置されている場所で、ノズルが繰り返し表示される。

PD\_ISO Ver06.04.01.19 以上で対応

TR 17617

リピータビリティを使用して実行して Line\_number\_label が 14 文字以上で設定されている場合、  
スプールナンバーの作成に失敗してしまう。

ISOGEN Ver8.5.5 以上

TR 17357

特定の状況において、threaded valve に接続している offshore threaded plug のシンボルが見つ  
からずエラーが発生する。

ISOGEN Ver8.5.5 以上

TR 17224

Intergraph オプション 12 により 2 行に分けてタグナンバーを入力するように設定してもスペシャ  
リティアイテムには、適応されません。

TR 17085

マルチエンドプレパレーションのバルブがアイソ図上で向きが逆になっている

TR 16592

パイプラインに分岐部品が存在しかつ直行しないラインに偏心レデューサが配置されている場合、ISO 抽出が正常に行われません。

ISOGEN Ver8.5.2 で対応

TR 16948

バルブの CP0 で属性(サイズ)が変わり、2 つのパイピングセグメントを持つリリーフバルブのフローアローが正しく表示されない。

PD\_ISO Ver06.04.01.17 以上で対応

TR 16802

ISOGEN は、type\_2 ラベルを使用するコンポーネントがあるラインを再抽出すると、スプールナンバーの作成に失敗します。

ISOGEN Ver7.17.9 で対応

PD\_ISO Ver06.04.01.13 & PD\_ISOGEN Ver06.04.01.11(ISOGEN V7.17.9)

PD\_ISO Ver06.03.01.37 & PD\_ISOGEN Ver06.03.01.30(ISOGEN V7.17.9)

TR 16542 (9581049)

フランジ接続のニポレットは、方向を基準にして異なるシンボルを利用してしまいます。

同一ラインに 2 つのニポレットが配置されている場合、1 つは正しいシンボルを使用しますが他方はデフォルトの形状を使用してしまいます。

TR 16315

CP1 2", CP2 と CP3 1 1/4" のレデューシングティーが BOM 上で 2X2" で表示される。

ISOGEN Ver8.7.0 以上

TR 16020

PD\_ISO は、オプションファイル内の LINE\_ID\_DEFINITION に 3 つ以上の属性が定義されている場合、データベースへの再抽出情報の書込みに失敗します。

TR 15993

900 ラベルを使用して、ラベル属性データ表示が分数の場合、ラベルの接頭語のみ無視され図面に書き込まれません。表示を real にセットすると接頭語のみ図面に書き込まれます。

TR 15946

End prep 71 のラップジョイントフランジがスペックに登録されています。MTO の length calculation が Precise に設定されている場合、抽出時に "Failed to translate red schedule thickness of lap joint flange at mating". とメッセージが表示されます。PD\_ISO は、このコンポーネントに対して STUD\_70 テーブルから情報を読み込むことが出来ません。End prep70 に設定すると、正常に出力できます。

TR 15912

INGR\_ATEXT\_SPECIFICATIONS セクションの Atext number 4(CHAIN\_) に対して新しい文字列が有効になりません。

TR 15394 (13209)

特定の状況において、同じシートの同じライン ID の continuation notes を表示してしまう。

PD\_ISO Ver06.03.01.36 以上で対応



TR 13740

PDME データ生成時に作成された.pxx ファイルには、各エントリの終わりに余分なスペースが入ります。これらのブランクは、PD\_Shell から PDME ファンクションへ Export する index.doc ファイルへ入力されます。

TR 13427

特定の方向を向いたパイプライン実行時に ISOGEN は FAIL メッセージを出します。パイプラインには、オリフィスフランジ/インストゥルメント/特別な方向を向いたオリフィスフランジと右上を指す North Arrow が配置されています。

ISOGEN Ver8.5.5 以上

TR 13382

保存されているライン情報から再抽出(repeatability)すると、スプール番号がずれて文字が煩雑に表示される。再抽出(repeatability)しないで抽出(save sheet extraction data)すると、正常に表示されます。

ISOGEN Ver8.5.2 以上

TR 13254

Tblock.exe で segment data table の NPD にアクセスするときに Dr.Watson が表示される。

For example, 1, 12, 11, 0, 11, 5, -1, 200, 25 !NPD

Ver06.04.01.11 以上

TR 13248

PD\_ISO は、ソコレットの分岐部を通してラインをスキャンしています。しかし、まるでヘッダー接続であるかのような情報が表示されます。結果、アイソ抽出に失敗して IDF / HITS ファイルは不完全になります。

TR 13015

ラインが異なるインシュレーション厚の単位を使用している場合、tblock.exe で Dr.Watson が発生します。

TR 12967

以下の条件のときに、ティーの表示がおかしくなります。同じラインナンバー上のティーに接続したパイプと異なるラインナンバーのティーの CP3 に接続したタップを持つエルボ。

TR 12783

レデュースングクロスが配置されているラインには、アイソ図中に部品番号が表示されません。クロスシンボルは出力され、MTO に番号付きでアイテムは表示されます。

TR 12296

アングルチェッキバルブ上のフローアローが流れ方向に沿って表示されません。

PD\_ISO Ver06.04.01.12 に対応

TR 11429

LineID を Sequence number と NPD と文字列で設定して Bulk load を実行して、アイソ抽出を行うとエラーが発生する。E33 error "No component was found that match the database search criteria".

TR 11427

パイプバンドが配置されている小径のパイプライン(2"未満)の線幅が提供されている dwg.ddf ファイルを使用して抽出しても他のセクションと異なって表示されます。

ISOGEN Ver8.5.2 以上

TR 11410

2 シートにまたがるラインを抽出すると、ピースマークナンバーが入れ替わってしまう。  
ISOGEN Ver8.7.0 以上

TR 11125

バッチ環境の Revise Drawing Form 上で、リビジョン番号に対して-1を入力することが出来ません。Revise Single Drawing と Revise Multiple Drawing 共に正の数値しか入力することが出来ません。リビジョン番号をゼロにリセットすることは可能ですが、-1 に設定することは出来ません。これは、全てのリビジョンを削除したりリセットした場合、次の抽出時にリビジョンを 0 の代わりに 1 にするためです。

TR 11124

Intergraph オプション 71(structural reference dimensions)を使用すると、全てのグラフィックスがレベル 3 に配置されてしまう。  
DDF ファイルを使用してレベルを定義することで問題を回避してください。

TR 10729

エキセントリックレデューサが配置されているスロープライン(傾き 1:500)を抽出すると、1:840 と表示されてしまう。  
ISOGEN Ver8.5.2 以上

TR 10580

コネクトポイントを 1 つだけ持つコンポーネントのスペックインプライドアイテムを見つけるために size-dependent data の検索すると失敗してしまう。

TR 10502

セグメントの流体コードに FOR を設定すると、インタラクティブ/バッチ共に抽出できない。

TR 10209

提供されている Style2.def で ISOGEN オプション 109 が 0 に間違っ設定されているため、不具合が発生します。インシュレーションが途中で変更されているラインを提供されている Style2.def で抽出すると、各アイテムの表示が何回も行われます。ISOGEN オプション 109=111111 にすることによって正常に抽出することが出来ます。

TR 9417

特定のプロジェクトにおいて、Intergraph オプション 37 が設定されているのにも関わらず、Alternate\_Description\_index に登録が無い場合、PSM で配置されたサポートがあるパイプラインを抽出するとリンケージエラーが発生する。

TR 9345 (279901421)

バルブオペレータの角度を 0.1 度まで表示するようにしました。現在は、全桁表示されてしまいます。

TR 7130 (279901376, 16921)

ガasketを決定するときに、multi end prep のインストゥルメントからレッド側のコネクトポイント情報を読み出すことが出来ません。デフォルトフランジ(RFFE TS=5)はスペック 1 から配置されています。異なるコネクトポイントを持つインストゥルメントは、グリーン側(RFFE TS=5) / レッド側(FFFE TS=6)として配置されています。このラインを抽出すると、PDS はインストゥルメントのレッド側の情報を正確に読み出すことが出来ません。(FFFE TS=6 のガasketの読み出しに失敗します)。デフォルトフランジ(FFFE TS=6)は、スペック 2 から読み込まれます。

TR 6806 (279900863)

提供されているシンボル NIXX がフランジ型部品で使用できません。NIFL の代わりに NCFL が配置されてしまいます。

ISOGEN Ver8.5.2 以上。

TR 6432 (279900252)

エキセントリックレデューサのシンボルのセンターに代わりにコーナーにパイプが接続されて表示されてしまう。

ISOGEN Ver8.5.2 以上

TR 6426 (279900237)

座標軸(North to South または、East to West)に対して平行ではないパイプラインを”Structural Column Reference”を使用して抽出すると FAIL が表示されてしまう。

ISOGEN Ver8.7.0 以上

TR 6193 (279802947)

Structural Reference Dimension File 作成時に、グリッドが水平か垂直のどちらで配置されているかを決定するには、グリッドの方向よりもグリッド名を使用します。番号で指示されているグリッドラインは、Reference Dimension File に水平なグリッド(レコード2)として書き込まれています。アルファベットやグリッドラベルの無いものは、垂直なグリッド(レコード3)として書き込まれます。ユーザ定義のグリッド名が使用された場合は、間違ったグリッドを参照してしまいます。

TR 5442 (279801101)

Structural Column Reference Ascii ファイル作成時に、以下のメッセージが表示される。  
"Cardinal Element not found for Column no C\_\*. Error during propagating the model.  
Processed model\_no: \*\_s\*"

TR 5343 (279800069)

4つのコネクトポイントを持つシリンダのオフコネクトポイント CP3 と CP4 は、アイソ図上で正しく表示されません。

ISOGEN Ver8.5.2 以上

TR 5284 (279702883)

Bend - Flanged 180 リターン (シンボル BUFL) が動作しません。 .

TR 5229 (279702126)

CPL が COCP にマップされている場合、カップリングに近いスプールの1つが表示されない。

ISOGEN Ver8.5.2 以上

TR 5086 (279700068)

アイソ図上でインシュレーションシンボルが正しく表示されません。ラインは、ヘッダーラインとスキューブランチ(RPAD)が配置されていて、ヘッダーとブランチは流れ方向を持ちインシュレーションが設定されています。

アイソ抽出時にインシュレーションはパイプエンドではなく、ブランチ部の流れ方向シンボルにのみ表示されます。

ISOGEN Ver8.5.2 以上

## II. パイプサポート

TR 17865

139 個のフィジカルサポートが配置されているパイプラインを抽出しようとする Dr. Watson が表示されたり、ハングアップします。(Status 49 - Problem Line Not Processed After Restart of Iso Interface).

TR 9704

僅かに傾いているパイプライン上に配置されたロジカルサポートをアイソ抽出できない。

TR 18875 and TR 18091

この問題は、EDEN モジュールで orientation prompt を使用した PSM サポートを使用した場合とコンポーネント上に配置した場合のみ発生します。パイプサポートの方向が間違っ て配置されてしま います。この問題を解決するには、PD\_Design06.04.01.14 以上をインストールする必要があります。PD\_Design の前のバージョンで配置されたサポートは、アイソ図上で正しい向きを取得するた めに削除して再配置しなければなりません。

PD\_ISO Ver06.04.01.21 以上で対応

## III. 分岐部

TR 22952 (21725)

オレットタイプの分岐部で Line\_ID が変更されている場合、ISOGEN は"(35:1010) Overflow in Data/Pipeline Rejected"エラーを出します。'Branch Component Association from Isometric Drawings'に設定しても効果がありません。

TR 22473

4 CYL4 や 4 BOX4 のようなスペシャリティ/インストゥルメントの 2 つのタップ付の分岐部の 1 つは、ISOGEN オプション 121=0 で両方のタップ付分岐部がプライマリ軸に沿っている場合、寸法 が表示されなくなります。

ISOGEN Ver8.7.0 で対応

TR 20337 (13238, 11573, 10534)

ISOGEN は、以下のような状態のときに Dr. Watson を表示します。

タップ付エルボとソコレットがソコレットの後でラインがブレイクされている垂直なラインに配置 されている場合に発生します。ソコレットと次のコンポーネント、パイプ、エルボ間でラインブレ ークが無く、水平に配置されている場合には正常に出力されます。

PD\_ISO Ver06.04.01.23 以上で対応

TR 14109

Reducing Wye branch は、アイソ図上で間違っ て表示されます。

ISOGEN Ver8.5.2 以上

## IV. タップ

TR 19798

タップ付のチェックバルブに接続されたライン上で、continuation note が表示されない。  
ISOGEN Ver8.7.0 に対応

TR 19797

タップ付ブランドフランジで line\_id を変更して、ISO 抽出するとログファイルに次のエラーが発生する。'Error returning from iso interface'

TR 18974

タップ付きブラインドフランジにパイプサポートが配置されている場合、アイソ図上にサポートが表示されません。  
ISOGEN Ver8.5.5 以上

TR 17321

タップ付きエルボに接続している WeldOlet を抽出すると Dr.Watson が出る。

TR 17005

2 個のタップが付いているオリフィスフランジが配置されているラインを抽出すると、ワーニングメッセージ ("SPLIT POINT HAS BEEN POSITIONED INCORRECTLY") とアイソ図中に FAIL メッセージが表示され、グラフィックが煩雑になってしまう。ISOGEN オプション 118=1 or 2 の時のみ現象が発生する。  
ISOGEN Ver8.5.5 に対応

TR 16461

タップ付きのキャップは、キャップの CP1 がコンポーネントに接続していない場合、逆に表示されず。CP1 にコンポーネントが接続している場合は、正確に表示されます。

TR 16366

タップ付きエルボに座標が表示されません。

TR 16263

特定の状況において、タップ付きエルボを抽出すると失敗する。

TR 16143

Continuation note が、タップ付きエルボの間違ったコネクトポイントを指してしまう。  
ISOGEN Ver8.5.2 以上

TR 12229 (9516608)

タップ付きのキャップ上に溶接シンボルが矛盾しています。ラインの状態は、両サイドにタップ付きのキャップを配置した 24"パイプとタップに接続したパイプがあります。

TR 11054

エルボのタップ上にサポート(フィジカル/ロジカル)が配置されている場合、タップのあるコンポーネントにパイプがアタッチしていない場合でも FAIL メッセージを出します。

TR 11245

パイプラインがトラニオン付きのエルボ部で attribute break されている場合、エルボがあるラインは正常に抽出できますが、エルボの続きのラインは FAIL メッセージが表示されて正常に抽出できません。

TR 10297

ISOGEN は、以下の状態のときに 2 番目のスプールを作成することが出来ません。  
FSW フランジがブラインドフランジに接続しているパイプラインがあります。ブラインドフランジには、タップが配置されています。そのタップには、パイプ・バルブ・プラグが接続されています。  
ISOGEN Ver8.5.2 以上

TR 5081 (279603696)

オリフイスフランジの一部であるタップの実際の配置場所にタップ(on the "big")を配置するために、ユーザ定義のシンボルを定義しています。ISOGEN はシンボルのセンターのタップに接続しているラインに配置します。  
ISOGEN Ver8.5.5 以上

## V. 寸法 / 座標

TR 20695

4 つのコネクトポイントを持つボックス(4BOX4)とシリンダのようなインストゥルメントは、フランジからフランジまでの距離を不正確に表示します。2CP のボックスを配置した場合の寸法は正確に表示します。

TR 20356

フランジ付きパイプにオレットを配置している場合、オレットの分岐部分に寸法が表示されない。フランジ付きパイプの代わりに標準のパイプに配置した場合は、寸法が表示されます。

TR 17089

プラグが配置されている場所で、間違った座標が表示される。  
PD\_ISO Ver 06.04.01.19 以上で対応

TR 16171

シンボル COCP がカップリング(FGExFGE)にマップされている場合、フルディメンジョン表示でも寸法線が表示されません。  
ISOGEN Ver8.5.2 以上

TR 14546

寸法線やポイントが DDF ファイルを使用して設定しても適切なレベルに配置されません。DIMENSION-TEXT レベルの代わりに ISO-TEXT レベル上に配置しています。  
ISOGEN Ver8.5.2 以上

TR 11211 (5103)

ISOGEN オプション9 のポジション B=1 に設定すると、フランジタイプのコンポーネントの寸法がおかしくなる。  
ISOGEN Ver8.5.2 以上

TR 10520

パイプ - タップ付きレデューサ (タップから分岐している) が配置されているラインに配置されているサポートの Overall 寸法が間違っている。パイプ上にはサポートがあり、ISOGEN オプション 40 のポジション A=0 に設定すると、寸法はレデューサのエンドまで延長され正しい寸法値が表示されます。  
ISOGEN Ver8.5.2 以上

TR 10077

4つのコネクトポイントを持つシリンダの CP3 に接続したパイプの寸法が表示されない。  
ISOGEN Ver8.5.2 以上

TR 15808

DVCS 座標でサポートが配置されている FPIPE は、間違った図形や寸法が表示されてしまいます。  
DVCS 座標ではない場合は、正常に動作します。

TR 15449

Intergraph オプション 18=4(Plant Coordinate system using large coordinates)に設定した場合、  
システムはフランジ付きパイプ上のロジカルサポートに間違った寸法を配置します。パイプサポ  
ートはパイプの中央ではなくエンドに表示されます。

TR 12546

パイプエンドにキャップが配置されている時に、ISOGEN オプション 54=4(ショップウェルドをフ  
ィールドウェルドに変更します)と ISOGEN オプション 9=103(コンポジット寸法)に設定した場合、  
キャップ前のパイプに寸法が表示されません。  
ISOGEN Ver7.17.3 以上

TR 16716

寸法線がラインのエンドではなく、continuation アイテムまで延長して表示されてしまう。  
ISOGEN V8.5.2 で対応

TR 5319 (279703241)

スキューラインの寸法がアイソ図中で正しくひょうじされません。両サイドが他のラインに接続し  
ているラインの一部がスキューしています。IDF ファイルから削除すると寸法が正常に表示されま  
す。  
ISOGEN Ver8.7.0 以上

## VI. MTO/ BOM

TR 22629 (10277)

2つのスルーボルト接続のチェックバルブが1つのライン上に配置されていた場合、ボルトが集計  
されず、ガスケット数が1つ足りなくなります。3つのバルブではボルトは正確に出力されますが、  
ガスケット数が1つ足りなくなります。バルブ1つの場合は、正常に出力されます。

PD\_ISO Ver06.03.01.40, 06.04.01.27 以上で対応

TR 21243

Intergraph オプション 67=1 で rweld に配置された分岐部品(field fabcat)に対して寸法は正しく表  
示されますが、分岐部に対してマテリアルリストのパイプ長さは正しくありません。  
ISOGEN Ver8.7.0 で対応

TR 19995

USER\_DEFINED\_COMPONENT\_BOM を使用するとシステムが集計に失敗する。

TR 17735

機器モデルにラインが接続しているとき、アイソ図上のスルーボルト接続のバルブに余分なボルト  
が表示されてしまう。  
ISOGEN Ver8.5.5 以上

TR 16920

スペック 77281.pcd からスペックインプライドアイテム付きのフランジを配置した。ISOGEN 実行後、BOM のコモディティコード欄には+マーク付きのコモディティコードが表示されてしまう。

TR 16918

No-mto のフランジは、ラインの向きによって自動的につけられる default bolt ownership 属性を持つ場合と持たない場合があります。

PD\_ISO Ver06.04.01.20 以上

TR 14587

アイソ抽出時に BOM や図中に RPAD を表示させないように Intergraph オプション 30=0 に設定すると、BOM には表示しませんが図中に表示されてしまう。

TR 14436

スタイル 2 形式の MTO は、マテリアルディスクリプション内に不正な空白行を残してしまいます。これらの部品は、スタイル 1 では 1 行でディスクリプションを表示します。スタイル 2 では、同じディスクリプションが 2 行で表示され、空白行が表示されてしまいます。

ISOGEN V8.5.2 以上

TR 13518

スプールナンバーをアルファベットで表示するために、ISOGEN オプション 39 を設定した場合、25 個目以降は、BOM に不正な情報が表示されます。

ISOGEN Ver8.5.2 以上

TR 12079

EDEN 内で未知な Wet COG を持つコンポーネントに対して、MTO ニュートラルファイルでは dry COG がおかしくなる。

TR 17464

RPAD を BOM に表示しないように Intergraph オプション 30=0 にしたのにも関わらず、.b#ファイルにレポートされてしまう。

TR 11169

.b ファイル内のガスケットのオーナーシップがアイソ図と対応していません。ラインの構成は、パイプ - フランジ - スルーボルトのバルブ / アトリビュートブレーク / フランジ - パイプです。属性は、Default gasket/bolt ownership で両ガスケット共にアイソ図に含まれています。しかし.b ファイルには、1 つのガスケットのオーナーシップが異なって表示されてしまいます。

TR 7128 (279901369)

Line\_id を変更するためにラインをブレークした場合、さらに最初のアイテムがパイプの場合、パイプの重量が MTO 上で間違って表示されます。

ISOGEN Ver8.5.2 以上

TR 16586

ISOGEN は、Iso notes ファイルの最後の行から値を読み出したときに、タイトルブロックノードへの書込みに失敗します。



## VII. 溶接

TR 19702

Intergraph オプション 41=1 にした場合、フランジとスペシャリティのフランジ接続部に溶接が発生してしまう。

TR 19006

オリフイスフランジ(end prep 421 SWE)とパイプ(end prep 391 PE)が接続している部分において、溶接が発生しない、ショップ溶接の代わりにフィールド溶接が発生してしまう。  
ISOGEN Ver8.7.0 以上

TR 18298

Old skey にオフショアウェルドを使用して新しいシンボルを作成しても、ユーザ定義のオフショアウェルドシンボルを使用すると FW シンボルが表示されてしまう。

TR 17584

PDS による溶接番号を使用して Intergraph オプション 67=0 or 2 にしたときに、ティーの2つのレッグの内の1つがアイソ図上で点線で表示される。ティーのセンターに Continuation が表示される。  
PD\_ISO Ver 06.04.01.19 以上で対応。

TR 17318

マルチエンドプレパレーション(PE×MTE)の swage が FTE の cap に接続している場合、スレッド部に溶接が表示されてしまう。

TR 14702 (5273, 9704)

ニボレットが配置されているラインを抽出すると、CP1/CP2 の溶接タイプが反対に表示される。

TR 14927

Intergraph オプション 62=1(PDS で作成された溶接番号を表示する)に設定した場合、同じ Line\_Id のパイプが点線で表示されてしまう。Intergraph オプション 62=0 にした場合は、正常に表示されます。  
ISOGEN Ver8.5.2 以上

TR 14360

コンポーネントが Contractor Supplied, Field Fabricated のように定義され、属性変更時に Shop Weld で定義したとき、システムは regular Shop weld シンボルの代わりに undefined weld を表示します。

TR 13520

ウェルドナンバーがセクションの最大数を越えた場合、アイソ図上のフォームへ出力したウェルドナンバーがあふれても新しいシートへ正確に出力しません。  
ISOGEN Ver8.5.2 以上

TR 10533

コンポーネントが溶接タイプの end preps を持つ場合、ヒートトレーシングが設定されているコンポーネントの寸法が表示されません。-16 レコードが IDF ファイルに存在しません。Intergraph オプション 67=0(ショップウェルドを作成しません)に設定されています。

TR 6327 (279900055)

小径のラインに配置されている socket-welded 接続のフランジは、溶接が Shop ウェルドの時アイソ図上で溶接シンボルが1つ多く表示されてしまいます。ISOGEN Ver8.5.2 以上

## 8. 不具合未対応

PDS Ver7.0 リリース後も、解決していないトラブルです。対応時期は未定です。

TR 23872

Intergraph オプション 67=0 のときに Rvweld が配置されているヘッダーで問題が発生します。ヘッダーの溶接タイプを Shop から Field に変更した場合、分岐部の溶接箇所は Shop として表示されているにも関わらず、システムはブランチ側の Rvweld に対しても Shop から Field へ変更します。Intergraph オプション 67 0 の場合は、問題は発生しません。しかしベンド部に溶接箇所が余計に発生します。

TR 23858

ユーザ定義のモデル / オプションファイル / isomap.tbl / symbol.lib を使用してラインを抽出するとパイプサポートシンボルが XAHG にマップされている場合、エンジニアリングアイテム(スペシャリティ)に “A” の文字が表示されてしまう。

TR 23765

スローラインに対して Structural Column Reference 機能(Intergraph オプション 71=2)を使用してアイソ抽出すると、いくつかの図面で FAIL が表示されました。アイソ図上には不正な寸法線が表示されますが、値は正しく表示されます。Intergraph オプション 71=1 で抽出すると正しく表示されます。

TR 23690

IDF ファイルで TEBW にマップされているティーは、アイソ図上でスクリュータイプのフィッティングとして表示されます。パイプラインの方向によって抽出に失敗 / 成功します。

TR 23688

コンポーネントナンバーを表示させるために TYPE\_1 ラベルを定義しましたが、いくつかのコンポーネントで表示されませんでした。問題があるバルブは、少なくとも 1 つは tri-clamped end でした。ラベルは表示されたりされなかったりします。この問題はインストールメントが multiple end prep(i.e. welded by clamped)の場合に発生します。

TR 23636

シート分割点をクロスのどちらか一方に設定している場合、グラフィックとインフォメーションが同じシート上で別れて表示されています。(エラーは多分クロスをトレースするときに発生しています)

TR 23602

ISOGEN オプション 41 のポジション C=3 に設定しても動作しない。

TR 23467

End preparation BE の機器ノズルへ接続しているパイプがある場合、Structural column reference 機能は FAIL を出して寸法が表示しません。

TR 23425

ユーザは、Structural Column Reference 機能を使用して抽出しました。ほとんどのアイソ図の左上に FAIL メッセージが表示されています。Intergraph オプション 71=12 のときに、アイソ図上のポイントから左下の原点へ寸法線が引かれてしまいます。

TR 23417

大きな座標で Plant Coordinate System を利用するため Intergraph オプション 18=4 を使用すると、不正な値が表示されます。アイソ図上の値は、パイピングモデルの値と一致しません。

TR 23279

スタイル 3 を使用すると、BOM を再配置するために以下の制御文を使用することが出来ます。User.mld ファイル内に定義される Start-Point XPOS YPOS では、Y 軸に上にものみ BOM を移動することが出来ますが、X 軸に沿って移動することが出来ません。

TR 23235

アイソ図上に FAIL が表示されます。ユーザは system iso の抽出をしようとしています。グラフィックとパイピングモデルが一致しません。FAIL が表示されないように抽出するために ISOGEN オプション 34 を変更しましたが、モデルと一致しません。err ファイルにはエラーは発生していませんが、PLOTTED の前に FAIL が発生しています。

TR 23229

インストールメントインジケータの CP1 でアトリビュートブレイクしている場合、インタラクティブ抽出では正しく表示されません。パッチ抽出で同じラインを抽出すると 2 つの接続されていないセグメントがありますとエラーが発生してアイソ図を作成することが出来ません。

TR 22502

フランジ接続のインストールメントのインジケータ (4IND) に対して IDPL から IDFL へマッピングを変更した結果、アイソ図上でフランジ部が逆向きに表示されてしまう。

TR 22293

フランジ付きパイプを使用して各コンポーネントを異なるスプールに分けて抽出した。アイソ図上でスプール番号が 100 に到達しても図面上は問題ないが、BOM 上でスプール番号がゼロに戻ってしまう。

TR 21923

特別なケースにおいて溶接シンボルに対して DDF ファイルの設定を考慮しません。例えばレイヤー 10 は、DDF ファイルでは溶接のために設定されていますが、小径 (i.e. 1") の分岐部 (オレットから始まる) を持つヘッダーがある場合、オレットのヘッダーラインが Shop Weld の場合、分岐部が Field Weld の場合は、最初の溶接 (次がオレット) はレベル 1 へ書き込まれます。他の溶接シンボルは、溶接タイプに関わらずレベル 10 へ書き込まれます。

TR 21887

ISOGEN オプション 19=1 に設定したとき、スロープの割合が間違っ表示されます。

TR 21730

デフォルトセットのボーダファイル設定は、アイソ抽出中に無視されてしまう。シードファイルのリファレンスとしてアタッチしているボーダファイルが、アイソ図上に表示される実際のボーダとなっています。

TR 21181

インプライドマテリアルをレポートするように 'USER\_DEFINED\_IMPLIED\_ITEM\_BOM' を定義しています。フランジ間でスペックブレイクされているボルトに対して、アイソ図上に表示される PMC は、フランジがボルトを所有しているに関わらず、フランジの West, south の高い方または、エレベーションの低いほうから取得されます。

TR 19831

ATEXT-221(field fit weld message)が 13 文字以上の場合、14 文字以上の文字がスローラインに表示されてしまいます。

TR 19739

2 つ以下のレッグがパイプにアタッチされているとき、Y シェープのシンボルが間違っ表示されま  
す。

TR 19652

パイプバンドが含まれるライン上で、USER\_DEFINED\_COMPONENT\_BOM が指定されている場  
合、インダクションバンドグループは有効になりますが、パイプのアイテム番号がゼロで表示され  
てしまう。

TR 19265

タップ付きブラインドフランジにエンドオレットが配置されている場合、ISOGEN オプション 9=0  
or 3 に設定しているとエンドオレットの寸法が表示されません。ISOGEN オプション 9=4 に設定す  
ると、寸法が正しく表示されます。タップから先の部品に対して寸法を入れるために、ISOGEN オ  
プション 121=0 に設定しています。

TR 18296

インストゥルメントのタグが正しい位置に表示されません。ISOGEN オプション 9=110 に設定する  
とグラフィックとラベルが煩雑に表示されてしまう。

TR 17043

フランジ - フランジ接続が正しく表示されない。

TR 16713

コンポーネントが no-MTO の設定されている場合、ユーザ定義の non-radial の分岐部品がある場所  
に余分なパイプが表示されてしまう。

TR 16709

Intergraph オプション 67 の設定によってユーザ定義の non-radial branch nipple が正しく表示され  
ません。Intergraph オプション 67=0 に設定されている場合、正しく表示されます。Intergraph オ  
プション 67=1 の場合は、正しく表示されません。

TR 16571

Non-radial のウェルドオレットとコンポーネントの接続部がアイソ図上で正しい方向で表示されま  
せん。

TR 1611

.DDF ファイルでバルブの thickness がゼロに設定されている場合、他のバルブ(1 または 2)に対し  
てはアイソ図上の線幅として利用されます。ゼロ以外のバルブ thickness 値は、正しく表示されます。

TR 15250

分岐部がヘッダーの RWELD に接続しているループラインでは、パイプの寸法が間違っ表示され  
ます。ループの反対側のパイプは、点線で表示されます。

TR 15099

NO-MTO コンポーネントに対して、溶接番号が付いてしまう。

TR 14364

システムは、NO-MTO として定義しているコンポーネントも含めてスプール番号を表示します。回避方法は、バルブとフランジ間にエクシジョンアイテムが無く、ボルト・ガスケットが集計されないバルブにボルト・ガスケットのオーナーシップを設定することです。したがって ISOGEN は、パイプ - フランジ - バルブ - バルブを 1 つのスプールとして扱い、バルブを取り除きます。

TR 11154

Non-radial weld からパイプに対して間違った寸法線が配置されます。垂直なオフセットがパイプ寸法に追加されています。

TR 10752

マテリアルリストがオーバーフローして 2 シートにまたがる場合、シート番号が表されません。

TR 10582

スロープラインにエキセントリックレデューサ - ティー - エキセントリックレデューサが配置されている場合、エキセントリックレデューサのオフセット値が正しく表示されません。

TR 6581 (279900527)

スロープラインにエキセントリックレデューサが配置されている場合、寸法が正しく表示されません。

TR 5424 (279800853)

バンド角が小さい場合、スロープライン上のパイプバンドのスキューボックスが正しく表示されません。

TR 5203 (279701597)

セグメント上にタップ付きのレベルゲージがある場合、アイソを実行するとパイプラインが曲がって表示されます。